

「水晶山登山研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

標高 90.3m の水晶山の山頂を目指して登山する。途中から頂上まではロープを伝って登っていき、頂上付近では青少年交流の家やその周辺、瀬戸内海の景色を眺めることができる。

2 ねらい

- ・グループで登山することで、自然に親しむとともに、仲間意識を高める。
- ・協調性を高める。

3 対象者

幼児以上

ただし、小学校第 3 学年以下は保護者または引率者の管理のもとでファミリールート（マップ参照）のみとする。

4 人数

最大 100 人

5 実施時期、時間

（1）実施時期 通年

（2）時間 約 1 時間

（注）自衛隊の訓練があるときは実施できない場合がある。この場合は、事前に交流の家から団体に連絡をする。

6 実施の可否

（1）判断時期

①午前の部・・・8 時 40 分 午後の部・・・12 時 40 分（いずれも研修当日）

②活動実施中・・・随時

（2）可否基準

以下の①～⑦の場合、活動を実施しない。

①局地風（突風）がある場合

②台風の接近が予想できる場合

③暴風警報が発表されている場合

④大雨警報が発表されている場合

⑤雷鳴がしている場合

⑥原則、熱中症暑さ指数（WBGT）31℃以上または気温 35℃以上の場合

⑦その他、特に水晶山登山に不適切と判断した場合

（3）可否の連絡方法

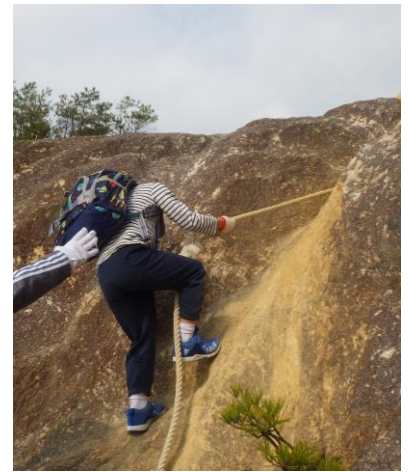
① 6（1）①の場合

交流の家職員（以下「職員」）から、8（2）①の総括責任者に知らせる。

② 6（1）②の場合

ア 総括責任者が中止を判断した場合は、直ちに総括責任者から交流の家事務室に携帯電話等で報告する。

イ 交流の家所長が中止を判断した場合は、直ちに職員が総括責任者に知らせる。



7 準備物

- (1) 個人：□登山に適した服装 □帽子 □運動靴 □飲み物 □タオル □軍手等の手袋
- (2) 引率者：□携帯電話 □水晶山登山マップ（交流の家ホームページからダウンロードできます。）
□救急バッグ（貸出可）
- (3) 交流の家： マムシ等の写真，ポスト，通行止め標識等の注意事項説明時に必要な資料は，移動式の掲示板に設置している。（管理棟1階事務室前ロビー）

8 指導・安全管理

- (1) 指導者の配置・人数・役割分担
研修は，「水晶山登山研修」実施要領をもとに，団体が水晶山登山の指導・安全管理等を行う。
- (2) 引率者の配置・人数・役割分担
活動団体で次の役割を持たせる。（小規模の団体は担当を兼ねられる）
 - ①総括責任者（全体の総括，緊急時の連絡担当）・・・1人
 - ②指導担当者（指導，先導，用具の準備，安全管理）・・・1人以上
 - ③監視担当者（頂上手前急斜面での安全確認，安全管理）・・・2人以上
（配置場所については別紙「水晶山登山監視場所」参照）
 - ※ロープを使って登り降りする時，斜面の下に監視担当者を配置し，登り降りの様子を監視する。
 - ④救護担当者（健康観察・応急処置・AED設置場所の確認）・・・1人以上
- (3) 引率者は携帯電話で連絡を取り合う。
- (4) 事故発生時の措置
総括責任者は，事故状況を把握し，交流の家に携帯電話で連絡を行う。

9 展 開

- (1) 「物品利用希望書」の提出
必要事項を記入し，総括責任者が入所時に交流の家へ提出する。
- (2) 借用物品受け渡し
救急バックの貸し出しを希望する場合は事務室で受け取る。
- (3) 事前指導
集合場所…つどいの広場
（指導担当者）
 - ① つどいの広場に整列させる。
 - ② 救護担当者に健康観察をさせる。
 - ③ 出発前に必ずトイレを済ませておく。
- (4) 指導担当者は目的，注意事項を説明する。
〈注意事項〉
 - ① 山道は安全を考え真ん中を一行で歩く。
 - ② 山道がない場所には行かない。
 - ③ 通行止め標識があるところには行かない。
実際の通行止め標識を見せながら，立ち入り禁止場所の確認をする。
 - ④ 自然を破壊しない。
※かぶれる木（ハゼ・ウルシ等）や有毒生物（マムシ・ムカデ・ハチ等）に注意する。
 - ⑤ 林の中は火気厳禁。
 - ⑥ 雨上がりは足元に十分気をつける。
 - ⑦ 適宜休憩をとり，水分補給をする。
 - ⑧ けがや体調が悪くなったら，引率者に連絡する。
 - ⑨ 頂上手前からの登り，そこからの最初の下りは，急な斜面にのため，ロープが設置してある。安全に配慮して，登り降りすること。



(5) 水晶山登山

- ① 1列になってスタートする。
- ② 緊急の場合はグラウンドトイレを使用する。

(6) 事後指導

- ① 水分補給をさせる。
- ② 救護担当者に健康観察をさせる。
- ③ まとめをし、解散する。
- ④ 水晶山登山研修終了を交流の家へ報告するとともに、借用物品がある場合は返却をする。

10 連絡先

	電話番号	緊急通報用電話番号
江田島消防署（救急係）	0823-40-0358	119
江田島警察署	0823-42-0110	110
江田島青少年交流の家	0823-42-0660（代表）	
	0823-42-0661（プログラム担当）	

水晶山登山マップ

自衛隊施設爆破訓練時は、山頂へは行けません。爆破訓練の予定は、前月末に決定します。

山道

チャレンジルート

幅のある谷をロープを使って登頂。登りにオススメ。

アドベンチャールート

2段階のロープ使用。道幅が狭く谷が深い。下りにオススメ。

ファミリールート

起伏が緩やかで森の中を登頂。幼児や高齢者にオススメ。



【コース例】
 <小学4年以上> (スタート) 交流の家 → 第2野外炊事場 → どんぐり広場 → チャレンジルート → 山頂 → アドベンチャールート → トイレ付近出入口 → 交流の家(ゴール)
 <幼児・高齢者> (スタート) 交流の家 → テニスコート奥 → ファミリールート → 山頂 → ファミリールート → どんぐり広場 → 第2野外炊事場 → 交流の家(ゴール)